

岐阜関ヶ原線トンネル 開通に交流イベントを

片山北地区の交通安全対策を

片山と梅谷間のトンネルの貫通式が2月23日行われ、来年のゴールデンウィーク前には開通の見通しとなった。

①片山と梅谷は古くから交流が盛んで、江戸時代には境界争いをした歴史を持つ、両地域の交流イベントを企画されたい。②開通により片山北地域の西幹線の交通量も大幅に増加が見込まれる。現在は車道の幅員が5.5mで両サイドに家や塀・標識が立ち大型車両同士の通行も困難な状態であり、周辺住民は大変危険だ。都市計画道路として幅員18mが計画されているが優先的に整備して交通安全対策を図りたい。③当面感応式信号機や北東のカーブミラーを曇り止めの物に変更し安全対策を図りたい。④揖斐都市計画

道路として7路線が決定されているが人口や交通量もピークを越えた。財政問題もあり計画幅員を見直すべき。

町長

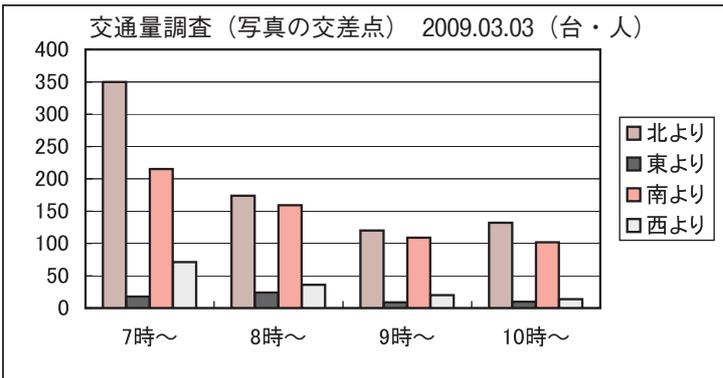
①垂井町関係者とウォーキングやジョギング・マラソンやそれぞれの地域を見て回るなど交流イベントなどを計画したい。②③道路改良は交通状況を把握し、都市計画道路に従った計画道路として進めたい。信号機設置は道路改良が前提、計画図面を作成し公安と協議し検討する。最終的には移転問題も出る可能性もある。曇り止めミラーに替えます。④新年度には都市計画マスタープラン等を調査し道路幅員についても見直したい。

粗大ごみの収集を 雇用対策で環境美化を

高齢化や運搬手段を持たない町民が多い。粗大ごみを有料で地域や期間を限定して効率よく収集してはどうか。粗大ごみの収集や災害ごみの除去、不法投棄ごみの撤去や道路・公園の除草、道路の点々補修など雇用対策を実施せよ。

町長

粗大ごみ収集については検討します。緊急雇用対策として国から半年間の交付金が入るがそれ以降についてはシルバー人材センターの仕事も減っているので雇用の場を確保することも含め検討する。



一日も早い交差点改良 (信号機設置) が望まれる (片山北地内)